

黙学(もくがく)を

—マスクを着用し、もくもくとひたすら学び続けよう—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 「黙学」とは何ですか。

A (1)新型コロナウイルスの感染スピードが速く、ワクチン接種が追いつかないため、新規感染者数が増え、学校休校や分散登校が行われ、学校行事や部活動なども大幅に縮小されて、帰宅時間が早まっています。



(2)しかし、入学試験や模擬試験、定期試験、単元テスト、実力テスト、3大検定などはほぼ予定通りに行われるので、勉強をし続け、第1志望校合格、学校成績(校内順位)アップ、3大検定合格を果たさなければなりません。

(3)そのため、どこでどのように勉強したらよいのか、勉強するときが一番大切なことは何かを考える必要があります。そこで、私が考えたのが「黙学」です。これは、マスクを着用するなど万全の感染防止対策を講じた上で、もくもくとひたすら学び続けることです。



*開倫塾では、「学校の授業中」や「家庭学習中」、「開倫塾の授業中」、「開倫塾での自学自習中」など、学ぶときはいつでも「黙学」をおすすめします。

Q 「黙学」のポイントは何ですか。

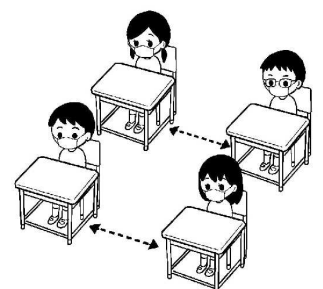
A (1)学校でも家庭でも開倫塾でも、勉強する前は「必ず手を洗うこと」。指先までせっけんをつけて、ゴシゴシとよく洗うことが第1です。

*ウイルスは口や鼻、目の粘膜から入ります。口にはマスクをしっかりすること、鼻や目は指先でこすらないことがポイントです。

*花粉症で目がかゆい人は、早めに眼科に行って眼科医の先生とよく相談し、治療をしてくださいね。

(2)学校や開倫塾の授業中は、マスクを完全着用の上、大きな声で話さないことが大切です。なるべく話さない。話すときはできるだけ小さな声で話し、飛沫が飛ばないようにする。

(3)家庭や開倫塾で自学自習をする場合も、勉強する前は指先までゴシゴシと手洗いをした上でマスクを常時着用し、もくもくとひたすら学び続けることです。



Q 声を出して読む音読練習をしてはダメなのですか。

A (1)十分に「理解」できたら声を出して読む「音読」をし、大切なところは何も見ないで言えるまでにする「暗唱」は、英語だけでなく、すべての教科の内容を身に着ける、「定着」させるために欠かせません。

(2)では、「黙学」の中で、「音読」や「暗唱」はどのように行うかを考えてみてくださいね。必ず方法はあります。

(3)私は、マスクを着用した上で、自分だけに聞こえるくらいのごく小さな声で、ボソボソと「音読」「暗唱」することをおすすめします。

*口びるを震えさせるだけでも、「音読」「暗唱」はできます。

Q 最後に一言どうぞ。

A (1)勉強で一番大切なのは「学習習慣」です。このコロナ禍の中で身に着けた「黙学」の学習習慣は、将来の受験勉強や大学・大学院などでの勉強、社会に出てからの勉強に必ず役に立ちます。



(2)学校でも家庭でも開倫塾でも「黙学」に挑戦し、自分から進んで、もくもくとひたすら学び続ける力を身に着けてくださいね。

(3)「学力」とは「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」です。「黙学」は「学力」そのものです。がんばりましょう。

2021年9月1日(火)

